

年 組 名前：



富士急ハイランド（富士吉田市新西原5丁目、上原厚社長）は22日、スマートフォンアプリでアトラクションの順番待ちができる新サービスを開始した。アプリ上の「分身」が順番待ちの列に並び、順番が訪れるまで列から離れて好きな場所で待ち時間を過ごすことができる。担当者は「将来的には行列のない遊園地になりたい」と話している。

＜三枝大悟＞

サービスの名称は「バー」FUJIYAMAと「チャルキュライン」分身「ええじゃないか」など人々く。ジェットコースター 気アトラクションは、夏休

アトラクション 分身が順番待ち

富士急ハイランド スマホアプリで新サービス

「バーチャルキューライン 分身くん」の利用イメージ図（富士急行提供）

みや大型連休の最盛期に約180分の待ち時間が発生するため、来客が列に並ばずに待ち時間を有効利用して他の施設を楽しんでもらおうと開発した。

富士急ハイランドの公式アプリ「Qちゃん」を通じて利用できる。対象アトラクションは「ZOKKON」や「FUJIYAMA」高飛車」など11種類。顔認証ファンデパスの購入者が利用可能で、1人につき2千円の追加料金を支払うと何回でも利用できる。顔認証ファンデパスは来園前日までに公式サイトで購入する必要がある。

アプリで対象アトラクションを選択して分身が並ぶと、人工知能（AI）が算出した待ち時間に応じて、アプリ上でカウントダウンが始まり、終了時にチケットが発券される。チケット有効期限の30分以内に対象アトラクションを訪れると、専用通路から乗車することができ、乗車終了後に再度、利用できるようになる。

富士急ハイランドの担当者は「アトラクション対象の行列代行サービスは日本で初めて。来客が何もできない待ち時間を減らし、楽しい時間を増やしていきたい」と話している。

（2026 年 7 月 28 日付 山梨日日新聞 7 面）

問1

富士急ハイランドは、スマートフォンでアトラクションの順番待ちができる新サービスを始めました。

そのサービスの名称を教えてください。

.....

問2

富士急ハイランドが、新サービスを始めた理由を教えてください。

.....

問3

このアプリを利用し、チケット発券までの流れを教えてください。

.....

.....